
◆ 目次 ◆

- 1 内川昭彦在モンリオール日本国総領事挨拶
 - 2 1 月及び 2 月の休館日
 - 3 領事窓口時間等について
 - 4 領事だより
 - (1) モンリオール日本語補習校からのお知らせ
 - (2) モンリオール日本語センターからのお知らせ
 - (3) オンライン日本語教室『KIBO』からのお知らせ
 - (4) 証明のオンライン申請導入（2023 年 11 月 28 日から）
 - 5 広報・文化だより
 - 6 当館管轄 5 州の政治
 - 7 当館管轄 5 州の経済
- * * * * *

1 内川昭彦在モンリオール日本国総領事挨拶

領事メールでは写真が掲載できないため、ご挨拶は下記の URL に掲載いたしました。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/CG/cg_202401.pdf

2 1 月及び 2 月の休館日

- 1 月 1 日（月） 元日
- 1 月 2 日（火） 日本国行政機関の休日
- 1 月 3 日（水） 日本国行政機関の休日
- 2 月 23 日（金） 天皇誕生日
- 毎週土日

3 領事窓口時間等について

- (1) 当館の開館時間

以下の URL をクリックするとご確認いただけます。手続きの内容によって時間が異なりますので、ご注意ください。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/office.html#section3

- (2) 一部の取り扱いにおける予約制

(i) 対象となる取り扱い

- ・在留証明の申請
- ・署名証明の申請
- ・警察証明の申請
- ・戸籍国籍関係の届出

(ii) 予約方法

当館領事班に、Eメールまたは電話でご連絡をお願いします。

【Eメールアドレス】consul@mt.mofa.go.jp

【電話番号】514-866-3429

4 領事だより

(1) モントリオール日本語補習校からのお知らせ

●正教員・代講教員募集のお知らせ

現在、モントリオール日本語補習校では、正教員および代講教員を募集しております。

モントリオール日本語補習校は、モントリオール近郊在住の小中学生を対象に主要教科(国語・算数(数学)など)の補習教育を毎週土曜日に日本語で実施しています。本校は、将来日本において教育を受けることを希望する小・中学生が、日本の学校教育に円滑に適応できるよう、日本の学習指導要領に沿った授業を日本語で提供することを目的としています。

以下の条件に合う、熱意のある方のご応募をお待ちしております。

a. 正教員・・・日本での教員の経験、またはそれと同等の能力および経験のある方

【勤務時間】毎週土曜日6限授業(年間40日)

b. 代講教員・・・小学校・中学校の全学年。

特定の科目だけでも可能です。担当教員が休みの時に代講をお願いします

詳細は、補習校ホームページをご参照ください。

<https://www.hoshuko.ca/home>

(2) モントリオール日本語センターからのお知らせ

●教員募集のお知らせ

【残2枠・応募は1/30まで】小学校の児童に日本語や日本文化を教えませんか？

モントリオール日本語センターでは2024年度(4月～3月の1年間)小学2年生と小学6年生のクラスを担当してくださる方を各1名募集しています。

週1回（毎週土曜日の午前中）、小学校の国語の教科書を中心とした授業をしていただきます。

<応募資格>

- ・カナダ国内で働けるビザを持つ方
- ・2024年4月～2025年3月の1年間期間、働くことが可能な方（1年以上も可能です）
- ・教員免許保持者や経験者に限らず、教育に熱心でセンターの主旨に賛同され、1年間責任をもってやってくださる方
- ・指導の仕方のサポートや経験豊富な授業アシスタントも付きます。

経験に関わらず、ご興味のある方は下記リンクより詳細をご確認ください。

仕事内容や時給など詳細を確認していただけます。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfTI3CRMyVqB9ucrSw1U4mcUCMrV2t4MgCLuJcimgWcV61hpA/viewform>

皆様のご応募をお待ちしております。

●モントリオール日本語センター 2024年4月開講 3歳児クラス及び他学年途中入講生募集について

当校では2024年4月開講、新幼児1クラス（3歳児クラス）及び他学年の途中入講生の募集を行います。

応募者多数の場合は抽選となる場合もございますのでご了承ください。

【対象年齢】 2020年4月2日～2021年4月1日生まれのお子様

【応募方法】こちらからお申し込みください。（Google Form）

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdjMWq6kcI6yDDw4_j-ioQF-8h0cY58IZ0knRE70dYToJ7j3w/viewform?usp=sharing

【募集期間】2024年1月24日（水）～ 2月2日（金）

【問い合わせ】info@japanesecenter.com

（3）オンライン日本語教室『KIBO』からのお知らせ

●『KIBO』 冬講座（7レッスン）1/15（月） - 2/29（木）のご案内

KIBOは、少人数のオンライン授業で、言語と文化を多角的に触れて学ぶ教室です。

<https://www.kiboedu.org/online-courses>

『あゆみ』は日本にゆかりをもつ子女を対象にした継承語学習クラスです。

授業内容は、あいさつ、季節・文化習慣のお話しに始まり、文字学習、本の読み聞かせ、音読、読解など、多岐に渡ります。授業は基本日本語で進み、必要に応じて英仏で補足説明をします。日本と海外双方での教育経験豊かな講師陣が、子供たちそれぞれの『あゆみ』に寄り添い、ご家族の願い、子供たちの夢を応援します。

冬学期は1月15日スタートですが、途中入構も随時受付けておりますので、まずはご相談ください。

ご質問・ご相談は下記メールアドレスまで。

Email: program@kiboedu.org

日本語学校は諸事情で通えないけれど、日本とのつながりを持ち続けてほしい、日本語を少しでも学び続けてほしいと願う保護者のみなさん、この冬一度レッスンに参加してみませんか？

下記リンクから、ご登録ください。

対象：

オンライン幼稚園：幼児（4 - 6 歳）授業時間：毎週月曜日 5:00 - 5:30 PM (EST)

<https://www.kiboedu.org/challenge-page/e75e84aa-b2f8-450a-adf5-4a2c3fef7c4f>

児童クラス：

低学年（7 歳 - 9 歳）月曜日 5:45 - 6:30 PM (EST)

高学年＋中学生以上 木曜日 6:15 - 7:00 PM (EST)

<https://www.kiboedu.org/challenge-page/533674e1-805f-40ab-a4be-6e387ed47432>

（4）証明のオンライン申請導入（2023 年 11 月 28 日から）

2023 年 11 月 28 日から、当館が発行する証明の一部についてオンライン申請ができるようになりました。オンライン申請いただいた場合は、手数料をクレジットカードまたはデビットカードでお支払いいただくことができるようになります。従来通りカナダドル現金によるお支払いも引き続き可能です。

なお、お受け取りはこれまで同様、申請された方ご本人に当館窓口へお越しいただき、本人確認等を行ってからお渡しします。

概要は下記 URL をクリックして、当館ウェブサイトからご覧ください。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/shoumei_online.html

5 広報・文化だより

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を（ culture@mt.mofa.go.jp ）までお知らせください。毎月 10 日までに原稿をいただければ同月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

（1）当館は、以下の SNS 公式アカウントを開設しています。日本や当館の活動に関する情報を随時発信しています。

●フェイスブック

<https://www.facebook.com/JapanConsMontreal>

●X

<https://twitter.com/JaponMontreal>

●YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UC5Fc52skP5w8otfowcN30ag>

（2）第 4 回国際裁判機関等インターンシップ支援事業のお知らせ

<https://intern-support.jp/>

（3）日本関連行事等のお知らせ

* 以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問い合わせください。

* 外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様へのご参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんのでご了承ください。

●モントリオール日系文化会館のイベント

場所：モントリオール日系文化会館

8155 rue Rousselot, Montréal

（ア）モントリオール日系コミュニティーコーラス「歌おう会」

季節の唱歌・童謡・地方民謡など、日本の歌を日本語で歌う会です。（ピアノ伴奏：登かなえ氏）

日時：1 月 25 日（木）11 時（約 45 分）

参加費：モントリオール日系文化会館会員 5 ドル、一般 8 ドル（小学生以下無料）

参加申込み・問合わせ先：

（モントリオール日系文化会館）514-728-1996 または jcccm_yh@bellnet.ca

（イ）シニア・ドロップイン・カフェ（日系・邦人シニア対象）

イーティン&テイクアウト用に作りたての和菓子とご飯もの 1 品が用意されています。

日時：1 月 25 日（木）12 時～14 時

* 和菓子作りのボランティア募集中（1 月 25 日（木）9 時 30 分～12 時）

ボランティア問合わせ先：

（モントリオール日系文化会館）514-728-1996 または jcccm_yh@bellnet.ca

（ウ）シニア木曜ドロップイン（日系・邦人シニア対象）

日時：2 月 8 日（木）10 時 30 分～14 時

ランチ代：10 ドル

参加申込み・問合わせ先：

（モントリオール日系文化会館）514-728-1996 または jcccm_yh@bellnet.ca

●抹茶・和菓子ワークショップ

（ア）抹茶ワークショップ&DIY 最中

日時：2 月 4 日（日）12 時 30 分、14 時 30 分（各 60 分）

場所：SUMI DOJO

3479 Boul. Saint-Laurent, Montréal

<https://fb.me/e/1ChzXqcom>

（イ）抹茶ワークショップ&DIY 八つ橋

日程：2 月 25 日（日）12 時 30 分、14 時 30 分（各 60 分）

場所：SUMI DOJO

3479 Boul. Saint-Laurent, Montréal

<https://fb.me/e/c2dBvd3Pc>

●モントリオール子どもクラブ

モントリオール子どもクラブは、日系親子の集うプレイグループです。参加をご希望の方は以下のメールアドレスにご連絡ください。

開催日時：2 月 9 日（金）及び 23 日（金）11 時～15 時

場所：モントリオール日系文化会館

参加費：1 ドル

連絡先：info.mtlkodomoclub@gmail.com

FB アカウント：<https://www.facebook.com/profile.php?id=100090537858737>

IG アカウント：https://www.instagram.com/kodomoclub_montreal/

●舞台「OKUNI」

出雲阿国を題材にした舞台「OKUNI」が上演されます。

総合監督：Sylvi Belleau、出演：安原嘉代、Élisabeth Caty、音楽：草野幸吉、アニメ

ーション：青木義乃、後見：浅野ゆきえ、衣装：宇井佳代子、紙芝居：Line Michaud

(ア) 日時：2月15日(木) 19時30分

場所：Théâtre Mirella et Lino Saputo

8370, boulevard Lacordaire, Montréal

<https://montreal.ca/evenements/okuni-creatrice-du-kabuki-komachi-montreal-60806>

(イ) 日時：3月15日(金) 19時30分

場所：Centre des loisirs de Saint-Laurent

1375, rue Grenet, Montréal

<https://montreal.ca/evenements/okuni-creatrice-du-kabuki-komachi-montreal-59752>

(ウ) 日時：4月6日(土) 19時30分

場所：Maison culturelle et communautaire de Montréal-Nord

12004, boulevard Rolland, Montréal

<https://montreal.ca/evenements/okuni-creatrice-du-kabuki-komachi-montreal-59179>

●ケベックー日本友好協会新年会(ケベック市)

日時：2月25日(日) 12時

場所：Salle de communautaire,

1175 Turnbull, Avenue, Québec, QC, G1R 5L

会費：25ドル(お弁当代込み)

先着55名

参加申込み・問合わせ先：ゴーバン雅美氏 quebecjapon2018@gmail.com

●Design textile actuel / Textile Design Now

世界で活躍する23人の女性作家の作品を集めたもので、日本人アーティスト須藤玲子氏、武田裕子氏の作品も展示されています。(無料)

期間：2月11日(日)まで

場所：Centre de design, UQAM

1440, rue Sanguinet, Montréal

<https://centrededesign.com/design-textile-actuel/>

●ランゲージ・ティータイム

NUMA Instituteでは、語学学習者同士の交流を深める場を提供しています。

日時：毎週月曜(フランス語)、火曜(英語)、水曜(日本語) 15時30分~17時30分

場所：NUMA Institute

Centre St. Jax, 1439 Sainte-Catherine O., Montréal

参加費：スナックかお茶または寄付（5 ドル）

NUMA Institute と E-QIP ランゲージスクールの生徒及びボランティア（募集中）は無料

<https://www.numa-inst.com/products>

●ランゲージ・エクステンジ（仏語－日本語）

ラヴァル大学院生が主催するオンライン・ランゲージ・エクステンジが、毎週土曜日朝 8 時（カナダ東部時間）から開催されています。

<https://www.meetup.com/en-AU/canasian-station/>

問い合わせ先：Pascal Paradis 氏（pascal.paradis.2@ulaval.ca）

●国際交流基金トロント日本文化センター

日本語教師向けにワークショップや情報交換会（オンライン）が随時開催されています。

<https://jftor.org/language/teachers/>

E-library で日本の本、マンガや雑誌などを読むことができます。

<https://jfl.overdrive.com/>

その他、様々なオンライン・イベントが随時開催されています。詳細はこちらからご確認ください。

<https://jftor.org/>

6 当館管轄 5 州の政治

(1) ケベック (QC) 州

・12 月 4 日、カナダの州首相支持率に関するアングス・リードの世論調査によると、QC 州のルゴー州首相が 31% で最下位となる。3 ヶ月前に行われた前回調査比で 16 ポイント落とした。

・12 月 5 日、OECD が 81 ヶ国を対象に行った 2022 年の国際学力調査 (PISA) によると、QC 州は数学で 7 位とトップクラスを維持。カナダは 9 位、日本は 5 位であった。

・12 月 5 日、プラント・モンリオール市長が体調不良のため記者会見を途中退席。13 日に公務に復帰。

・12 月 7 日、ドワイヨン現州副総督の後任として、ジャノット (Manon Jeannotte) 氏が新副総督に任命される。同氏は、ガスペ地域のファーストネーション (Gespeg Mi' kmaq) 出身で、最近まで HEC モントリオールのファーストネーション向けリーダー養成プログラム (EDPN) の共同設立者・代表を務めた。2024 年 1 月就任予定。8 日、州議会は、英国植民地時代の象徴とされる副総督職を廃止する動議を賛成多数で可決。投票に参加した

各党議員 100 人全員が賛成票を投じる。

・12 月 10 日、州議会は、医療改革法案（法案 15）を 75 対 27 で可決。政府は審議時間を制限して年内の法案成立を強行。法案成立にともない、州保健省に代わり医療サービスの運営を担う新たな州営企業「サンテ・ケベック (Santé Québec)」が誕生する。

・12 月 14 日、州政府は、2024 年秋より、州外から来るカナダ人学生に対する英語系大学の年間授業料を現在のほぼ 2 倍となる約 17000 加ドルに引き上げるとの 10 月の発表を修正し、12000 加ドルとすると発表（エストリ地域に位置するビショップス大学については、値上げは実質免除）。外国人留学生の学費が 2 万加ドルに引き上げられる決定は変わらず。19 日、マギル大学は、州外から来るカナダ人学生に対して、授業料値上げ分を相殺する奨学金を支給すると発表。23 日、コンコルディア大学も同様の措置を発表。

・12 月 28 日、労働協約更新交渉が続いていた共同戦線 (CSN, CSQ, FTQ, APTS, 組合員総勢 42 万人) と教員組合 (FAE, 組合員 65500 人) は、それぞれ州政府と基本合意に達する。11 月 23 日から続いていた FAE の無期限ゼネラルストライキが終結。

(2) ニューファンドランド・ラブラドール (NL) 州

・12 月 2 日、デイヴィス州環境・気候変動対策大臣は、ドバイで開催された国連気候変動枠組条約第 28 回締約国会議 (COP28) に参加。州が開発を目指す二酸化炭素 (CO2) 分離回収・有効利用・貯留 (CCUS) や風力によるグリーン水素に関するプロジェクトについてアピールしてきたとのこと。

・12 月 30 日、ブラジル前州進歩保守党暫定党首が辞職した Conception Bay East-Bell Island 選挙区の補欠選挙が 2024 年 1 月 29 日に実施されることが決定。

(3) プリンスエドワードアイランド (PEI) 州

・12 月 15 日、州政府は、2024 年 1 月 1 日より、認可保育施設 (EYC, FHC) の料金を 1 日 10 加ドルに引き下げると発表。連邦政府と交わした保育協定の一環で、目標としていた 2026 年よりも 1 年以上早く開始する。今回の発表は州内保育施設に通う子どもの 60% が料金引き下げの対象だが、ジェームソン州教育・幼年期大臣は、いずれは州内全ての保育施設の料金を 1 日 10 加ドルにすると発言。

(4) ノバスコシア (NS) 州

・12 月 4 日、州政府は、12 月 15 日より、民間派遣看護師が州立医療機関で勤務できる日数を年間 180 日に制限すると発表。民間企業から派遣されてくる看護師のほう給料も労働条件も良いという現状は、州の看護師不足解消への取り組みに逆効果と説明。

・12 月 13 日、サヴェージ・ハリファックス市長は、市庁舎前で野営を続ける人々に配慮し、市の新年祝賀行事を中止することを決定。同行事のために計上されていた予算 8500 加ドルはホームレス支援団体に寄付する。

(5) ニューブランズウィック (NB) 州

・12 月 1 日、著名人を含む数百人がモンクトン大学の名称変更を求める署名をしたことを受けて同大学が任命した 2 人の担当官は、大学の名称を変更すると 460 万加ドルかかる可能性がある等の調査結果を発表。「モンクトン」の名の元となったイギリス人行政官ロバート・モンクトンは、18 世紀のアカディア人追放に関わった人物とされる。9 日、モンクトン大学理事会は同報告を受け、大学の名称は変更しないことを決定。大学名の「モンクトン」は人物ではなく地名から来たものであること、大学内部で名称変更に対する関心が低いことも理由。

・12 月 4 日、州英語系医療ネットワーク「ホライズン」は、民間派遣看護師の使用を 2025 年末までに廃止する。一方の仏語系医療ネットワーク「ヴィタリテ」は 2026 年までに段階的廃止を予定。

・12 月 16 日、州政府は、海外で免許を取得したが州で医師として勤務できる基準を満たさない人を臨床助手として採用すると発表。今後 3 年間で最大 24 人を採用予定。

【各州世論調査結果】

(1) 州政党支持率

・QC 州 (レジェ (Léger Marketing) 調べ、12 月 1~4 日) : ケベック党 (PQ) 31%, 与党ケベック未来連合 (CAQ) 25%, ケベック連帯 (QS) 17%, 自由党 (PLQ) 14%, ケベック保守党 (PCQ) 11%, その他 2%

・NL 州 (ナラティブ・リサーチ (Narrative Research) 調べ (以下同じ)、11 月 2~26 日) : 与党自由党 44%, 進歩保守党 (PC) 38%, 新民主党 (NDP) 16%, 緑の党 1%, その他 1%

・PEI 州 (11 月 8~26 日) : 与党 PC 56%, 緑の党 18%, 自由党 17%, NDP 6%, Island Party of PEI 1%, その他 2%

・NS 州 (11 月 1~21 日) : 与党 PC 52%, NDP 22%, 自由党 21%, 緑の党 3%, その他 1%

・NB 州 (11 月 1~27 日) : 自由党 41%, 与党 PC 35%, NDP 13%, 緑の党 10%, ピープルズ・アライアンス (PA) 2%

(2) 連邦政党支持率

・QC 州 (レジェ (Léger Marketing) 調べ、12 月 1~4 日) : ブロック・ケベコワ (BQ) 31%、与党自由党 28%、保守党 25%、新民主党 (NDP) 13%、その他 3%

7 当館管轄 5 州の経済

(1) QC 州

・12 月 8 日、連邦政府は、ケベック市のメディカゴ工場建設のために支出していた 4000 万加ドルと特許を回収することで三菱化学グループと合意。メディカゴの元従業員が設立し、同社本社施設を取得したアラミス (Aramis Biotechnologies) がワクチンの研究開発を継続する。

・12 月 12 日、2023 年の州のメープルシロップ生産量は、悪天候により前年比マイナス

41.3%と大幅に減少。カナダ全体の生産量 1040 万ガロンのうち 940 万ガロンが QC 州産。

- ・12 月 19 日、エアバスは A220 型 40 機をルフトハンザ航空より受注（さらに 20 機のオプションあり）。A220 事業は州政府が 25%を保有し、製造拠点はミラベル。
- ・12 月 19 日、長距離バス製造の Prevost（本社サント＝クレール、ショディエール・アパラシュ地域）は、ニューヨーク州都市交通局（MTA）より、長距離バス（コーチ）381 台を受注。4.47 億ドルは Prevost 社史上最高の受注額。
- ・12 月 20 日、州政府は、ルブラン・ケベック投資公社（IQ）社長の後任として、Bicha Ngo 現同社プライベート・エクイティ担当上級副社長を任命。2024 年 2 月に就任予定。
- ・12 月 21 日、2021 年の州の温室効果ガス排出量は 7760 万トンで、コロナ禍で急減した 2020 年比で 5%増加した。州政府は、2022 年の排出量はさらに微増したかもしれないが、ガソリン車が減少傾向にあることから排出量は上限に達したと予測。
- ・12 月 21 日、州政府は、前政権が始めた 600 万加ドルの水素自動車パイロットプロジェクトに終止符。2017 年当時、水力による余剰電力でグリーン水素の一大生産地となることを目指していたクイヤール前州自由党政権は、50 台のトヨタ MIRAI を 48 ヶ月間リースしていた。州経済・エネルギー・イノベーション省によると、今月最後の 1 台のリース契約が終了したとのこと。
- ・12 月 21 日、GDP が 2 四半期連続のマイナス成長となり、州は景気後退局面に入ったとみなされるも、ジラル州財務大臣は、経済活動の全領域に影響が出ていないため景気後退と呼ぶのはまだ早いと発言。
- ・12 月 28 日、2023 年 12 月現在、州では 34 万件超の鉱物探査許可が発出されており、同年 1 月比で 8 万件超多く、2021 年 3 月比で 16 万件超多かった。貴金属、特に金が最も注目されている。

(2) NL 州

- ・12 月 4 日、州内で陸上風力発電開発プロジェクトを進めるワールドエナジーGH2 は、2025 年としていたグリーン水素生産開始時期を 1 年遅らせると発表。輸出先予定のヨーロッパの顧客側が受け入れに必要なインフラの準備ができていないとのこと。
- ・12 月 6 日、州政府は、州内湾における風力発電開発規制を州が主導するとの覚書を連邦政府と締結。覚書は 16 の内湾について州が独占的管轄権を持つとしており、州はこれら内湾で迅速な風力発電開発推進を目指す。
- ・12 月 18 日、州は 2024 年度、連邦政府が州間の財政格差是正のために特定の州に分配する平衡交付金を 2.18 億加ドル受け取る予定。コーディ州財務大臣によると、州が 16 年ぶりに同交付金を受け取れることになったのは、交付可否を判断するための計算式が変わったためであり、同計算式は 2029 年度まで使われるとのこと。

(3) PEI 州

- ・12 月 8 日、サマーサイド市（州第 2 の都市、人口 15000 人）が進める太陽光発電プロジェクト「Sunbank」は、48000 枚超の太陽光パネルが設置され完成間近。発電施設は 30 ヘクタールの敷地に 21 メガワット（市の電力需要の 25%に相当）のソーラーファームと 10 メガワットの蓄電システムで構成される。6800 万加ドルの同プロジェクトには市・州・連邦政府、サムスン、カナダ自治体連盟が参加。市は 5～10 年以内にエネルギーの 100%自給自足達成を目指している。
- ・12 月 21 日、連邦政府は、PEI 州と NB 州を結ぶコンフェデレーション橋の通行料据え

置きを決定。現在は普通車 50.25 加ドル。

(4) NS 州

・12月5日、148.5メガワットの風力発電プロジェクトを進める Roswall Development of Halifax の子会社 Mersey River Wind Inc. は、ミルトン（州南西部）近郊の州有地を確保し 2024 年春には建設を開始する。最終的には風力タービン 33 基が設置される予定。

・12月16日、州政府は、NB 州とつなぐ送電線新設工事の環境審査を承認。取りやめとなった QC 州と大西洋州をつなぐクリーン電力網「アトランティックループ」の縮小版となるプロジェクトで、既存の送電線に平行して NS 州側 96 キロメートルを NS パワーが建設する。2024 年秋建設開始、2027 年末稼働を目指す。なお NB 州側 65 キロメートルならびにポワンスロー原発への送電線新設・延伸工事を請け負う NB パワーは、同州政府への環境審査は未申請。

(5) NB 州

・12月13日、州政府は、2035 年までのエネルギー戦略を発表。州は人口増加にともない、2035 年までに 4000MW のエネルギーが必要になると予測（現在の電力需要は 3000MW）。主なエネルギー源は原子力 38%、風力 23%、水力 11% となり、需要ピーク時はディーゼル・石油も 22% 想定。

・12月29日、州政府は、9 月にセントジョンで火災事故を起こした金属リサイクル工場 American Iron and Metal (AIM) の免許取り消しを発表。

[在モントリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから、当館に在留届を提出されている方と、当館メールマガジン読者登録をされている方に向けて送信されています。本メールあてに直接返信なさらないようお願いいたします。本メールマガジンに関するご意見・ご要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。

emagazine@mt.mofa.go.jp

なお、当メールマガジン配信システムでは、技術上フランス語表記のアクセント記号をつけることができないことから、当館の HP においてアクセント記号付きのものを公開しております。

○メールマガジン読者登録をされている方で、配信中止・配信先変更を希望される方は、「配信中止（又は登録解除）」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、emagazine@mt.mofa.go.jp までご連絡ください。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モントリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらをご利用ください。

○メールマガジンのバックナンバーは、以下の URL をクリックすると閲覧いただけます。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ (www.kantei.go.jp)

外務省ホームページ (www.mofa.go.jp/mofaj/)

在カナダ日本国大使館ホームページ (www.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

当館ホームページ (https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

当館 Facebook (www.facebook.com/JapanConsMontreal)

当館 Twitter : @JaponMontreal <https://twitter.com/JaponMontreal>

○発行：在モントリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333, Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当

(emagazine@mt.mofa.go.jp) までご相談ください。

■-----■